

除雪機の藤井コーポレーションから

創意工夫 功労者賞 技術者3人に伝達

職場での発明、考案、改良に貢献した人に贈る文部科学大臣表彰の平成二十二年創意工夫功労者賞の表彰伝達式が十四日午後、県庁で行われ、県史関係では燕市小池、除雪機等製造販売、藤井コーポレーションから三人の技術者が表彰の伝達を受けた。

創意工夫功労者賞は、国の振興を目的に、各職域で民生活に役立つ科学技術の発明・考案・改良などに貢献した人たちの努力の強化など、科学技術表彰する制度で、今年度は

県内から七人が選ばれた。

県史地域からは藤井コーポレーション(株)で、溶接ロボット用溶接治具台車の搬出入作業の開発により、溶接作業の安全性、作業精度の向上、作業効率の大幅改善を図った高橋喜靖さん、志田孝幸さん、金子稔樹さんの三人が選ばれた。

伝達式では、神保和男副知事が受賞者一人ひとりに表彰状と記念品を手渡した。

「科学技術への関心の低下が憂慮されているなか、皆さんの日ごろからの創意工夫に取り組んだ成果が実を結んだ。今後とも科学技術の発展と本県の産業振興

のため努力してほしい。新潟県としても、次に続く人材の育成に取り組みたい」と知事メッセージを読み上げて祝福。

受賞者を代表して高橋さんが「今回の功労賞はものづくりの最前線で働く私たちにとって大きな喜び。受

賞はいろいろな人たちの協力や支援、大所高所から指導を得た県関係機関のおかげであり、これを機にいつその創意工夫を心掛けてよりよいものづくりに励みたい」と謝辞を述べた。

三條新聞
(4月18日発行)



神保副知事から表彰伝達を受ける高橋さんと志田さんと金子さんの三人